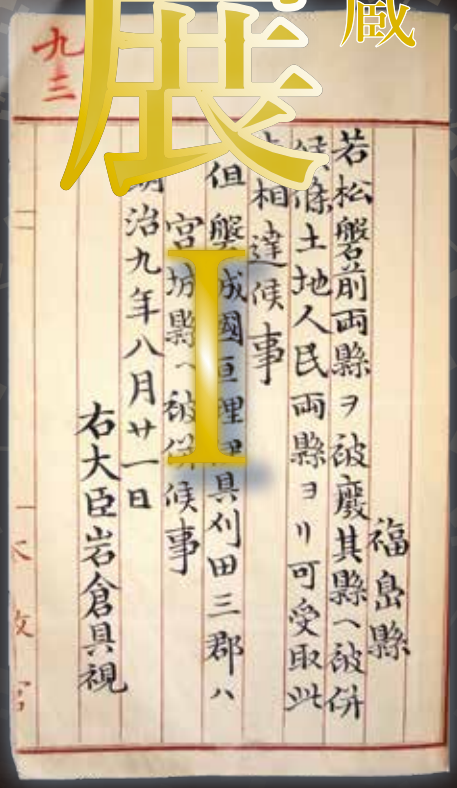
開館50周年記念事業

福島県歴史資料館収蔵

名品展 I



入館無料

令和２年

7月18日(土) ▶ 9月13日(日)

福島県歴史資料館展示室（とうほう・みんなの文化センター内）

【開 館 時 間】　午前９時～午後５時（入館は午後４時30分まで）

【休　館　日】　8月3日(月)・17日(月)、9月7日(月)

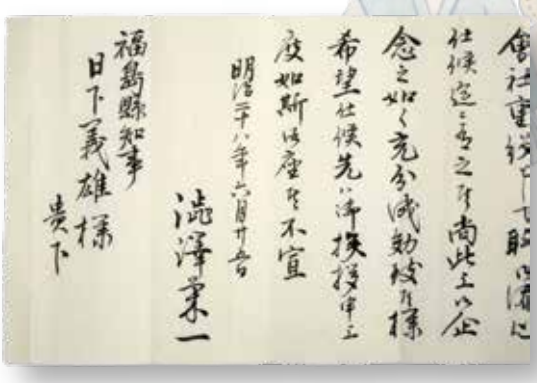
【主　　催】　公益財団法人 福島県文化振興財団

［資料］左上　十二ヵ月花鳥人物図屏風（右隻、内池輝夫家文書 1942）
中　奥州道中絵巻（部分、木目沢伝重郎家文書 1）
右下　明治９年(1876)8月21日付達（明治・大正期の福島県庁文書 141）

福島県歴史資料館開館50周年を記念し、収蔵されている資料のなかから、普段は公開していない屏風・掛物・巻子・古文書・公文書など貴重なものを一堂に展示します。この機会をお見逃しなく、ごゆっくりご覧下さい。

名山図譜（安井健夫家文書）

元画は谷文晁（ぶんちょう）の手になり、陸奥南部の医者川村元善（号錦城）によって文化元年（1804）に刊行され、87座88図を載せています。猪苗代湖北西から見た磐梯山で、福島県内では6座の山々が描かれています。



明治28年（1895）6月25日付渋沢栄一書状
（福島大学蔵明治・大正期の福島県庁文書48）

第一国立銀行頭取の渋沢栄一が福島県知事日下義雄に出した手紙です。岩越（がんえつ）鉄道会社設立に際して日下は渋沢と昵懇であったことから、日本鉄道株式会社重役でもあった渋沢に相談して協力を仰いできました。岩越鉄道とは後の磐越西線のことです。

寺西公行列之図（白石禎彦家文書）

江戸幕府の代官として寺西封元（たかもと）が赴く場面を描いたものといわれ、封元は塙・小名浜・桑折の代官を歴任しています。また、封元次男の元栄（もとなが）が豊後国日田の西国筋郡代に赴任する図の可能性もあります。19世紀前半頃の作品です。

紅白椿図（福島県歴史資料館収蔵）

保原出身の熊坂適山は蠣崎波響（かきざきはきょう）の弟子で、花鳥画や南画をよくし、後に松前藩の客分お抱え絵師となりました。白と赤が対照的でお互いの違いを引き立たせ、気品あふれる19世紀中期頃の優品です。

福島県歴史資料館

〒960-8116　福島県福島市春日町 5-54
TEL 024-534-9193　　FAX 024-534-9195

福島県歴史資料館　検索